

まとめ知識 (ショートカットキーの類)

0007 (作成 16.03.16)

マウスを操作するのと同じ効果を得られるキーボードの組み合わせを、「ショートカットキー」と呼びます。マウスで操作を行う場合、カーソルを動かしてクリックし、メニューを表示させてさらに希望の項目をクリックする、という流れで進むことがほとんどです。

このショートカットキーを活用しますと、同じ効果を得られるまでの時間を大幅に短縮することが出来るようになります。

1. ファイル (F) など、メニューの後の () 内の文字の使い方

「Alt」キーを押しながら () 内のアルファベットのキーを押すとメニューが開きます。続いて矢印キーを使って移動し、「Enter」キーを押すと、マウスを使うことなく、メニューに登録されている操作を行うことができます。

2. 各種ショートカットキー

- (1) 「CTRL+C」 (コピー) 現在選択されている内容をコピーします。
- (2) 「CTRL+V」 (貼り付け) コピーした内容を貼り付けます。
- (3) 「CTRL+X」 (切り取り) 現在選択されている内容を切り取ります。
- (4) 「CTRL+A」 (すべて選択) 選択対象をすべて選択します。
- (5) 「CTRL+Z」 (元に戻す) 直前に行った操作を取り消し、以前の状態に復旧します。

3. 便利なファイル選択方法

- (1) 「SHIFT」キーを併用して複数のファイルを一度に選択
- (2) 「CTRL」キーを併用して複数のファイルをひとつずつ選択ファイルに追加

4. ファンクションキーを使用した日本語入力の効率化

- (1) 「F7 キー」 全角カタカナへ変換 **はーどでいすく** ⇒ **ハードディスク**
- (2) 「F8 キー」 半角カタカナへ変換 **はーどでいすく** ⇒ **ハードディスク**
- (3) 「F9 キー」 入力中の文字を一括して**全角英数**へ変換

確定前に連続して押すことで、全て小文字 ⇒ 全て大文字
⇒ 頭文字のみ大文字と変換候補が切り替わります。

japanese ⇒ **Japanese** ⇒ **JAPANESE** ⇒ **Japanese**

- (4) 「F10 キー」 入力中の文字を一括して**半角英数**へ変換します。

確定前に連続して押すことで、全て小文字 ⇒ 全て大文字
⇒ 頭文字のみ大文字と変換候補が切り替わります。

japanese ⇒ **Japanese** ⇒ **JAPANESE** ⇒ **Japanese**

- (5) 「F6 キー」 入力中の文字を一括して**全角ヒラガナ**へ変換します。

ヒラガナ ⇒ **ひらがな**

5. (Windows キー) Windows の「スタート」メニューを表示します

6. (アプリケーションキー) 使用するソフトウェアによっていろいろな機能が割り当てられます。 通常は、右クリックと同じ働きをします。

7. (ひらがな入力の途中でアルファベットを挿入)

「SHIFT」キーを2回押したまま、アルファベットの書かれたキーを入力すれば良い。

この場合、IMEのプロパティで「和英混在入力」タブの「Shift キーで英数モード切替をMS-IME95 互換とする」をONにしておく必要があります。